

「小樽港の栄え見はるけて」

小樽桜陽高校 放送部 3年 若菜 海斗
(第66回 NHK杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門出場)

私たちの学校は、どの教室からも小樽の港を見渡すことができます。

この小樽港を、100年以上も前に築いたのが土佐藩出身の工学博士 廣井 勇
です。

明治維新、日本の近代化に役立ちたいと、廣井勇は、北海道大学で土木工学を
学びます。6年間アメリカに留学し、帰国して任されたのが、小樽港の建設でし
た。

北海道の極寒の冬、荒れ狂う氷の海を前に、港の建設は失敗を繰り返していま
した。 廣井勇は、海中で劣化しないコンクリートを発明し、ブロックを斜めに
積む工法を成功させ、明治41年、ついに北防波堤が完成します。

小樽港湾事務所の技師、本間 薫さんは、

「100年も前の防波堤が今も小樽港を守っています。この港は、廣井博士が残
した明治の北海道遺産です。」 と話します。

「港の栄え見はるけて、知性はひらく 新しく」

私たちの校歌に込められた、小樽港の教（おしえ）です。

【参考】

小樽桜陽高校校歌「風かがやかし丘の上」

1. 眼をはなて海遠く…

風かがやかし 丘の上
文化の潮 ひたよする
みなとの栄 見はるけて
知性はひらく 新しく
あぁ 打ちつどう 君や我
空までひびけ 歌わずや

2. 眼をはなて空遠く

窓さやかなり 香に立ちて
真理の花は 咲き匂う
学びの園に 培えば
叡智はみのる 自ずから
あぁ 打ちつどう 君や我
自らそだて すすまらずや

3. 眼をはなて涯遠く

雲たそがるる 丘の上
しずかに暮るる ひと時は
正しく生きん わが希望
まさやかなれと ねがわるる
あぁ 打ちつどう 君や我
北極星を 仰がずや